

特定非営利活動法人チームふくしま 福島ひまわり里親プロジェクト

活動場所：① 社会福祉法人つどい 生活介護事業所 ほっとライフ(福島県福島市)
② 特定非営利活動法人和(福島県二本松市) ③ 牧野ひまわり会(福島県田村市)
④ 福島県立福島高等学校(福島県福島市) ⑤ 労継続支援B型事業所共働作業所にんじん
舎(福島県郡山市) ⑥ 福島県営あづま総合体育館(福島県福島市)

活動期間：平成29年4月1日～平成30年2月28日

事業概要：観光・福祉雇用・防災教育を柱として、ひまわりの種を通じて思いやりや福島の魅力を知るプロジェクト。



【2020年東京オリンピック時の事業モデルケース】

あづま総合体育館に来ていた選手や、応援に駆け付けた方々がひまわりで笑顔なり、写真を撮ったりする方がいたので、会場にいた方々へ元気と笑顔を届けることができた。また、福島の復興をひまわりという1つの花を通して、感じてもらうきっかけにもなった。

2020年に開催される東京オリンピックの野球・ソフトボール会場である福島県営あづま球場にも、プランターに咲かせたひまわりを設置し、選手の皆さまの応援、『復興のシンボル』としてひまわりを通して感謝の気持ちを伝えることができると確信した。全国からの応援がこめられた種に対して、花を咲かせるといってその想いに応えることが出来き、実際に応援してくれた方々に対しても、の感謝が花という目に見える形で伝わりやすいと考える。

【福祉作業所への効果】

種のパック詰めやひまわりの栽培、ひまわり油の抽出などの軽作業が福祉作業所の仕事となり、被災地での障がい者自立支援に繋げることができた。